

# 発達障害者の理解と支援

科目コード

DD3161



単位数	履修方法	配当年次	担当教員
2	SR(講義)	2年以上	黄 淵熙

## 科目の概要

### ■科目の内容

この科目では、発達障害のある人の認知的特徴および心理的問題を理解し、それに対する対応について学習します。

**【スクーリングで学ぶ内容】** スクーリングでは、発達障害の定義および学習障害（LD）・注意欠陥／多動性障害（ADHD）・自閉スペクトラム症（ASD）の特徴に関して疑似体験等を通して体験的に理解します。また、障害別の対応方法についてグループ討論などを通して学習します。

**【教科書・レポート学習で学ぶ内容】** 教科書・レポート学習では、発達障害の分類および発達障害のある人が学校や社会で直面する問題に関して理解し、適切な対応法に関して学習していきます。

### ■到達目標

- 1) 発達障害の種類とその特徴について説明することができる。
- 2) 発達障害の行動特性の根底にある認知特性について説明できる。
- 3) 発達障害のある児童・生徒の心理的特徴について述べるができる。
- 4) 発達障害のある児童・生徒に起こりうる2次障害について説明し、それを防ぐための方法について論じることができる。

### ■教科書

田中康雄監修『イラスト図解 発達障害の子どもの心と行動がわかる本』西東社、2014年  
**(スクーリング時の教科書)** プリントを配付しそれに基づいて進めていきます。

スクーリングにあたって、上記教科書は使用しません。

### ■履修上の注意

「発達障害者の心理」(EG4733) の履修登録者は、履修登録できません。

### ■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「専門的知識」「アセスメント力」「社会貢献力」を身につけてほしい。

### ■科目評価基準

レポート評価40%+スクーリング評価60%

## ■参考図書

- 1) 主婦の友編『発達障害の子どもの心がわかる本』主婦の友社、2010年
- 2) 齋藤万比古著『発達障害が引き起こす二次障害へのケアとサポート』学習研究社、2009年
- 3) 五十嵐一枝著『軽度発達障害児を育てる—ママと心理臨床家の4000日』北大路書房、2010年

## スクーリング

### ■講義内容

回数	テーマ	内容
1	発達障害とは	発達障害の定義と種類
2	発達障害のある児童の心理・行動特性①	学習障害のある人の心理・行動特性
3	発達障害のある児童の心理・行動特性②	ADHDのある人の心理・行動特性
4	発達障害のある児童の心理・行動特性③	自閉スペクトラム症のある人の心理・行動特性
5	発達障害に対する支援①	学習困難に対する支援
6	発達障害に対する支援②	ワーキングメモリーの困難に対する支援
7	発達障害に対する支援③	行動の問題に対する支援
8	質疑応答	
9	スクーリング試験	

### ■講義の進め方

パワーポイントおよび配付資料を中心に講義を進めます。疑似体験や討論を行います。

### ■スクーリング 評価基準

授業への参加状況30%+スクーリング試験70%（持込は自筆ノートのみ可）

試験では単なる知識の確認ではなく、スクーリングで学んだ内容を踏まえた上で、試験テーマに沿って自分の見解をどれだけ論述できるかについて問います。

### ■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

自分が関わっている事例もしくは参考図書に載っている事例を基に行動および心理的問題について考えてきてください。

### ■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

スクーリングで学習した概念に基づいて自分が関わっている事例を分析し、よりよい対応について考察してください。

## レポート学習

### ■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	1章 発達障害とは	発達障害の概念を理解し、その種類について学ぶ。「発達障害スペクトラム」という考え方を理解する。  キーワード：発達障害、個性、発達障害スペクトラム	特別支援教育に関しては年々新しい知見が出て、それと関連する用語も変わっております。新しい用語を整理してみてください。
2	1章 発達障害の脳を理解しよう	発達障害の正確な原因は分かってないですが、脳の機能を制御するネットワークに何らかの機能障害があると考えられている。発達障害と関連する脳の部位などについて知る。  キーワード：発達障害、脳、前頭前野	p.114のワーキングメモリの機能に関して脳機能と関連させて学習してください。
3	2章 子どもの気持ちと気になるサイン	発達障害の特徴から起因する子どもの独特の言動を理解し、その対応について考察する。  キーワード：子どもの気持ち、気になるサイン	子どもの気になるサインを発達障害の特性と関連付けて考えてみましょう。
4	2章 発達障害の診断	発達障害の可能性の気づきから相談、診断に至るまでの方法や家庭について理解する。  キーワード：気づき、相談機関、診断	発達障害の可能性があると気づいた際に相談できる医療機関及び地域の相談機関などについて理解を深めましょう。
5	3章 自閉スペクトラム症とは	自閉スペクトラム症の児童・生徒の特性及びその背景にある心の理論や感覚過敏などについて理解する。  キーワード：自閉スペクトラム症、対人関係、心の理論	心の理論課題への困難が実際の対人場面でどのような問題として表れやすいのか想像しながら学習してみましょう。
6	3章 自閉スペクトラム症のある子どもへの対応	自閉スペクトラム症の特徴を理解した上に関わり方のポイントを理解する。  キーワード：自閉スペクトラム症、関わり方	学校・家庭など場を想定し、自閉スペクトラム症のある児童・生徒の関わり方について学習してみましょう。
7	4章 ADHDとは	ADHDの概念及び特徴、診断基準について学ぶ。  キーワード：ADHD、不注意、多動性、衝動性	ADHDと関連する脳機能としてワーキングメモリについて正しく理解しましょう。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
8	4章 ADHDのある子どもへの対応	ADHDの特徴を理解した上に関わり方のポイントを理解する。  キーワード：ADHD、かかわり方	実際の子どもの行動（例えば、席に座ってられないなど）を例として、対応について考えてみましょう。
9	5章 LDの特徴と関わり方	「読み・書き」の困難をもたらす要因について理解したうえで、困難の原因と対応した指導方法及び内容について理解する。  キーワード：LD、読み書き、聞く、話す	「聞く・話す」ことの困難の背景にある問題を理解し、問題別に異なった配慮が必要であることに気付くようにしましょう。
10	6章 療育とケア	TEACCH、感覚統合療法、ABAなどの基本を理解し、その療育方法を用いた子どもの行動の記述方法及び応用法について知る。  キーワード：TEACCH、感覚統合療法、応用行動分析	実際の子どもの行動を例として、各療育方法にもとづいた対応について考えてみましょう。
11	7章 家庭での支援	発達障害のある児童・生徒を持つ家庭での子どものかかわり方について具体的に知る。また、地域の人々との付き合い方、進学・就労に関して理解する。  キーワード：家庭での支援、子育て、進学、就労	発達障害のある子どもが不安を和らげ、穏やかに過ごせるように家庭でのかかわり方について具体的場面ごとに考えてみましょう。
12	参考図書2) 2章2 家庭でできる二次障害への支援	発達障害のある児童・生徒を持つ家庭での子育ての悪循環を理解し、ペアレント・トレーニングプログラムの方法及び意義を理解する。  キーワード：子育て、悪循環、ペアレント・トレーニング	発達障害のある児童・生徒への支援の一つであるペアレント・トレーニングを理解し、ほめることを日常生活の中で練習してみてください。
13	参考図書2) 2章1 学校ができる二次障害への支援	2次障害の発生メカニズムを理解し、学校における2次障害への悪循環への対応策について学ぶ。  キーワード：2次障害、発達障害、学校生活	事例を読んで自分であればどう対応したかについて考えてみましょう。
14	8章 保育所・幼稚園、小学校での支援	幼稚園・保育所において子どもの特性を理解し、特性にあった支援の仕方について理解する。  キーワード：幼稚園、保育所、特性理解、成功体験	指示の仕方及びほめ方などを具体的に考えてみましょう。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
15	8章 保育所・幼稚園、小学校での支援	教室の構造化、スケジュールの構造化など通常学級でできる工夫について理解する。  キーワード：小学校、構造化	日ごろ発達障害のある児童が学校場面で遭遇する困難について考えてみて、具体的な支援の工夫について考察してみましょう。

## ■レポート課題

1 単位め	<p>「A君は小学校3年生で、読み書きがとても苦手です。特に、漢字が苦手です。どうしても覚えられなく、国語の時間にみんなの前で本を読むと笑われたりしないかすごく気になります。また、不注意なところがあって、テストではケアレスミスが多く、プリントやノートなどをなくすこともしばしばあります。家でもよく叱られているし、先生からは「できるはずなのにしない」と思われています。</p> <p><u>この事例に対して、心理的なサポートを含め、学校や家庭でどのような対応が必要であるのかを述べなさい。</u></p>
-------	---

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

## ■アドバイス

事例の心理的困難について自分の考えを述べ、教科書の7章、8章を参考にして適切な対応について考察してください。

(注)

発達障害の定義・診断基準などはさまざまなものがありますが、「DSM」(ディーエスエム)と呼ばれるアメリカ精神医学会の「精神障害の診断と統計の手引き」が2013年5月に改訂され、DSM-5(ディーエスエム ファイヴ)として発表されました。

DSM-5の定義では、例えば「広汎性発達障害」が「自閉症スペクトラム(障害)」に呼び換えられるなどの変更がなされています。

現在では、「自閉スペクトラム症」または「自閉症スペクトラム障害」が一般的な用語となっています。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
12	間接サービスの戦略（権利擁護、ネットワーク構築、コンサルテーション）（第5章）	間接サービス戦略 利用者の権利を擁護する。 信頼性のある社会的ネットワークを構築する。 技術支援とコンサルテーションを提供する。 以上を理解する。	1. ケアマネジャーは、これらのサービス戦略をどのように用いるのか？ 2. ケアマネジャーは、利用者へのサービスを組織し実現する際に、個人的な、さらには専門職としての影響力をどのように利用するのか？ 3. ケアマネジャーは、利用者へのサービスを組織し実現するために、圧力や葛藤を伴う戦略をどのように用いるのか？
13	モニタリング機能と過程（第6章）	1. ケアマネジメント実践において、モニタリングが果たす役割を見定めること。 2. モニタリングに関係する4つの次元を見定めること。 3. それぞれの実践状況にあわせて、ケアマネジャーが使い分ける2種類のモニタリングについて説明すること。 4. モニタリングの機能をひとつの枠組みを使って述べ、その枠組みにおけるモニタリングの流れについて論じること。 以上を理解する。	1. ケアマネジメント実践において、サービスと支援のモニタリングの役割とは何か？ 2. サービスと支援のモニタリングの4つの次元とは何か？ 3. ケアマネジャーは、サービスと支援のモニタリングにおいて、どのようにしてインフォーマルで質的なアプローチを利用するのか？ 4. ケアマネジャーは、サービスと支援のモニタリングにおいて、どのようにしてフォーマルで量的なアプローチを利用するのか？ 5. サービスと支援のモニタリングに際して、ケアマネジャーが用いる主要な手立てとは何か？
14	評価機能（第7章）	1. ケアマネジメント実践における評価の役割を見定めること。 2. ケアマネジャーによって展開され遂行されたサービスと支援の意義を評価する4つの方法について詳述すること。 3. ケアマネジメント評価の主な方法を遂行する上で、それぞれの主要な段階を検討すること。 以上を理解する。	1. ケアマネジメント実践において、評価はどのように定義されるだろうか？ 2. ケアマネジメント実践において、評価の果たす役割とは何か？ 3. 評価に関する鍵となる4つの設問と、それらを導く方法とは何か？ 4. 影響の大きな目標の達成を評価するための、計画策定における主要な段階とは何か？ 5. 機能の評価において、社会的役割遂行による方法と課題設定法との違いは何か？ 6. 利用者へのサービスと支援の計画が評価対象となるのはなぜか？ 7. 利用者の満足度を評価することが、ケアマネジメントの価値を測定する適切な方法であるのはなぜか？